

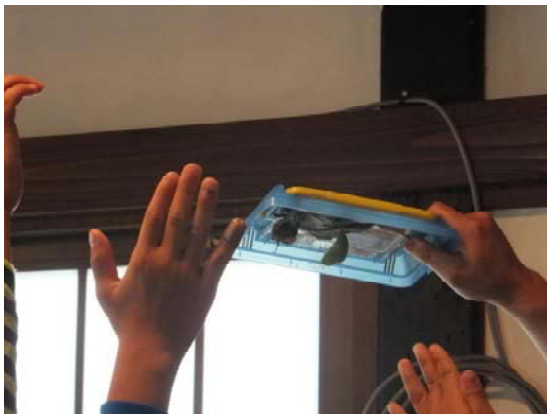
## 朝日自然塾2

# カッチャバ湿原で 初夏の昆虫観察を開催しました

朝日自然塾第2回プログラム「カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察」は、平成23年6月18日土曜日、山形市内の小学生親子17名の参加者により実施しました。



羽化したばかりのトンボ発見



触れると激しく揺れるオムラサキのサナギにビックリ



ハッチョウトンボ



楽しい話に笑顔いっぱい

午前中は、カッチャバ湿原で野外での昆虫採取とその観察を行いました。子供たちは羽化したばかりのハッチョウトンボやイトトンボなどを見つけると、真剣な顔で、ソーッと捕まえて、それを観察し、その後は再び自然に放してあげました。トンボの他にも、湿原のあちこちに見られたイモリも大人気でした。

また、子供たちは、講師が捕まえたばかりのスズメバチを間近で観察した後、ハチとアブの違いや注意点を真剣に聞いていました。

午後は、セミナーハウスで昆虫について、横倉先生による座学を行いました。その楽しくお

もしろい話には、子供たちも集中して聞き入っていました。特に、持ってきてくれた世界中の蝶やカブトムシなどの貴重な昆虫標本に



顕微鏡での昆虫観察



カッチャバで記念写真

は、子供たちは興味津々、くい入るように見つめ、さらには、世界一大きいカブトムシのヘラクレスの成虫を手にした時には感動の声が上がりました。

先生から日本の国蝶である「オムラサキ」についても話がありました。幼虫はエノキなどを食葉し、成虫になっても広葉樹の樹液に集まるなど、森林との関わりが大きいことが分かり、昆虫に関わる生態系保全の重要性についても学んだ有意義な一日となりました。

朝日自然塾2「カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察」は、西川町大井沢のカッチャバ湿原及びセミナーハウスを拠点に、大井沢自然博物館や講師の皆さんにご協力をいただき開催しました。